

協力隊新聞

2022年
2月号
Vol.12

| 発行 | 地域おこし協力隊4名 編集長 田中瑞穂 桜川市ヤマザクラ課 | 電話 | 0296-58-5111

加波山市場の店長です もっと必要とされる店をめざして全力で！
— 皆様の声をお聞かせください 日々新しいことに挑戦しています —

桜川市地域おこし協力隊の近藤です。私のミッションは(株)クラセル桜川が行う事業です。着任してからのほとんどが「加波山市場」の運営です。運営の仕組み・マニュアル作

成・パート従業員との連携・新規取扱商品の選定・発注・カフェメニュー開発とお店の中の業務に取り組んで参りました。現在では店長として業務に取り組んでおります。その為、他の協力隊メンバーと比べ、地域の皆様とのコミュニケーションが取れない状況です。この機会に顔と名前を覚えていただければ幸いです。

私はこの桜川市に何の縁もゆかりもなく、この地域を盛り上げていくためにやってまいりました。着任から10ヶ月が経ち、今となっては桜川市が好きになりました。ずっとこの地に住みたいと思っています。現在関わる皆様は加波山市場へ納品に来てくださる方々がほとんどで、とても心優しい方々で日々感謝しております。店長と言いつつも農産物のことはわからないことだらけ。初めて見る農産物に出会うと生産者の方から『食べたことないのか、食べてみろ』や『これ、知らないでしょ？ 食べてみな』と教えて頂きながら、少しずつ学んでおります。

カフェでは、私の飲食店の店長という経験を活かし、商品開発や商品マニュアルの作成、季節限定メニューに取り組みました。そして最近ではようやくランチ営業を開始することができ

ました。

これまでは提供できるご飯物が弁当容器に入ったカレーのみで、せっかく飲食スペースのある店で温かい物を提供できないかと取り組み、実現しました。冬の寒い季節にぴったりの固形燃料を使用した、アツアツなランチです。こちら3メニューからスタートし、新たに7メニューになるよう開発を進めており、更に春には全メニューリニューアルに向けて進めております。

さて、話は変わりますが、皆様は加波山市場に対してどのようにどのような印象を持っていますか？ 私はここ桜川市に移住し、日々全力で皆様に必要とされる店舗作りに取り組んでまいりました。しかしこの店舗をより良いものにする為には皆様の協力が必要不可欠です。皆様に必要とされる為には、何が必要なのか、どんなイベントを企画したら良いのか教えて欲しいです。『百聞は一見に如かず』です。ぜひどんな店なのか見にきてください。実証店舗ですから、日々変化していきます。日々色々なことに挑戦していきます。私たちの挑戦や変化を見てください。加波山市場は皆様の為のお店です。お待ちしております。

11:00-14:00
ランチタイム

ランチははじめました！
ご最大盛り
+55円

桜川風 炭火焼鶏 鍋膳 715円	180g ハンバーグ 鍋膳 825円	加波山 牛すき焼き 鍋膳 935円
---------------------------------	-----------------------------------	----------------------------------

昔の写真ありませんか？・・・「古い写真探し隊」活動

隊員の三村です。昨年11月から活動を開始し約3ヶ月が経ちました。市の文化財課に所属し、桜川の古い資産を活用した町おこしがミッションです。

そのためにまずこの地域を知るため街中に住む方々に、いろいろ教えてもらっています。するとかつて真壁が賑やかだった頃の話を知ることができます。鉄道が通っていた話はもちろんのこと、映画館があったり、植木市が1ヶ月にわたり続きサーカスがでたり・・・

そこで一つ思い立ったのが「古い写真」を見せていただくことです。写真を見ながら、おじいさんおばあさんの思い出話を聞ければ、これはとても大切な記録になると思います。

いかがでしょう？ 皆さんのうちにも古い写真が残っていませんか？ こんなことがあったんだよ、こんな時代だったんだよ、と次の世代に伝えられる貴重な写真はありますか？ 旧岩瀬、旧大和、旧真壁・・・各地域の街並みやお祭り、運動会の風景などなんでも結構です心当たりの方はご連絡いただけませんか？

写真をお貸しいただければコピーをしてすぐに返却いたします。できれば、写真についてコメントをいただいたり、あるいはお話を伺わせていただきたいと思います。そして一定数が集まりましたら、皆さんの許しを得た上で、展示会などしたいと思います。特に若い人たちにってもらい、この地域の昔を知るいい資料になればと思っています。

【連絡先】

①メール：sakuragawa58@gmail.com

②電話：090-7842-4339

③SNSダイレクトメール

<Instagram>

https://www.instagram.com/Sakuragawa_kunihiko/



<Twitter>

<https://twitter.com/SakuragawaKuni1/>



※現在桜川の魅力発信を開始しております。SNSのFollow/拡散をお願いします。



見せていただいた真壁町付近の昔の写真（昭和30年代？）

白鳥を眺めて癒やされてみませんか？

—今年30羽ほどが大池（大国玉）に飛来しています—

私、田中瑞穂は農林課の仕事で白鳥を観察することがあります。可愛らしく人懐っこい白鳥に魅了されて、仕事以外でも会いに行くことが増えました。今年は1月中旬の時点で30羽ほどが大国玉の大池（おおいけ）にいます。例年は



榊箕ヶ池（ますみがいけ）に多くいるのに、今年はなぜか時々1羽やってくる程度。西小埜の小ノ池にも今年は来ていません。12月は高幡の田んぼにいた白鳥たちが結局大池に集まってきたようです。黒鳥（ブラックスワン）やオオバン、マガモなどたくさん水鳥たちもいて賑やか。

白鳥は、カモ目カモ科ハクチョウ属。シベリアから越冬のために飛来しますが3,000キロメートルも離れているのに2週間ほどで到着します。飛翔速度は時速50キロから80キロくらい。うまく気流に乗れば100キロを超えることもあり、かなりのスピードで飛んでくるんですよ！

のんびり白鳥を眺めていると声をかけられます。近所の農家さんは、「自然のなかで悠々と羽を伸ばす白鳥の姿って優雅でいいね」と述べ、自転車です南から来た若者は、日本書紀でヤマトタケルの魂が白鳥となったという伝承について熱く語ったり。そんな交流もできました。

ただし、大池には駐車場がありませんのでご注意ください。